

## 停電時の屋外設置ボイラー（Fact）の凍結予防について

製造メーカー ノーリツ株式会社

主な型式 • FT-4208ARS4AWCH  
• GTH-C2451AWPD-T-KO

### ご注意

本製品は、停電時の水抜きを想定しておりません。本水抜き方法は、ガス機器の被害を最小限に抑えるためのものです。通常（通電）時の水抜き方法については、取扱説明書をご参照ください。

外気温が氷点下の場合、温度、風の有無等の状況によって停電後1～2時間程度で凍結する可能性があります。凍結による破損防止のため最低限の水抜きをお願いします。

お使いの給湯・暖房システムは、

- ・屋外設置のボイラー本体（給湯系統および暖房系統）
- ・室内点検口内の配管等（ボイラーのおおよそ裏側）で構成されています。

暖房系統については、不凍液を使用しており、停電時においても凍結の心配はありません。

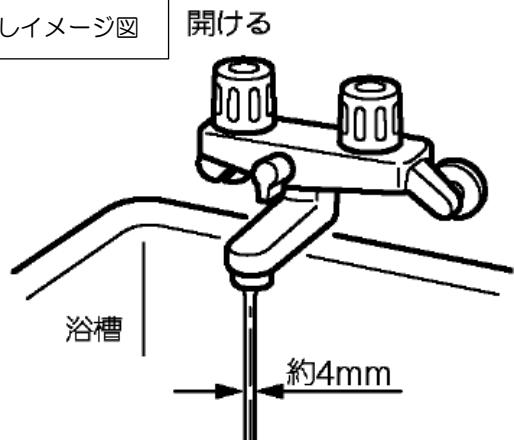
写真A：屋外設置ボイラー（Fact）



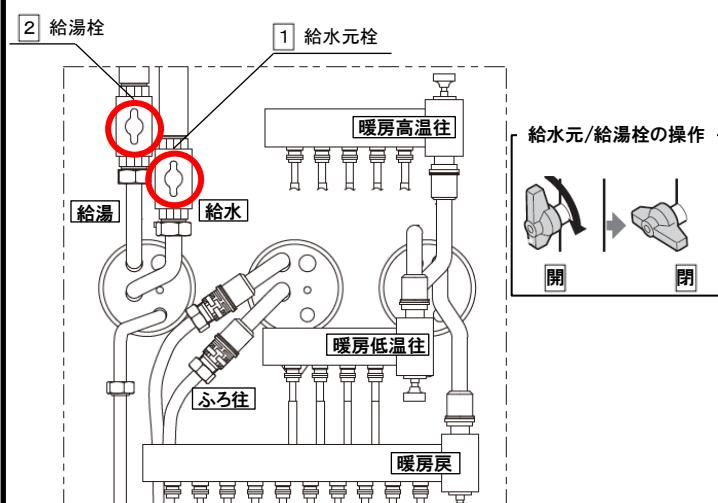
写真B：室内点検口（例）



浴槽への水流しイメージ図



写真B. 室内点検口、構成図



### 停電時に凍結を予防ためには：

#### ① 水道が通じている（断水していない）場合

水抜きの必要はありませんが、給湯栓を開け1分間に約400ミリリットルの水を浴槽に流しておいてください。  
※ サーモ付やワンレバーの混合水栓の場合は、設定を最高温度の位置にしてください。  
※ 浴槽の近くに給湯栓がない場合は、シャワーホースを浴槽まで伸ばしてシャワー栓を開けてください。

#### 【注意点】

- ・水量が不安定なことがあります。念のため、30分くらい後にもう一度水量をご確認ください。
- ・サーモ付やワンレバーの混合水栓の場合は、再使用時の設定温度にご注意ください。

#### ② 水道が通じていない（断水している）場合

給湯系統の水抜きの必要があります。

##### 1. 水抜き準備

- ① 室内点検口（写真B）を開ける。
- ② 給水元栓1を閉める。
- ③ 給湯栓2を閉める。

※注1) 室内点検口の開け方は4、5Pを参照

## 2. 水抜き操作

- ① ボイラーダウン栓（写真A）を開ける。（固定ビス2ヶ）
  - ② 給水・給湯回路水抜き栓③を回し、全開にする。
  - ③ ふろ回路水抜き栓④を回し、全開にする。
  - ④ 中和器水抜き栓⑤を水が出てくるまでゆるめる。

※注2) 水抜き栓の操作方法は右図参照

  - ⑤ 水が出なくなったらすべての  
水抜栓③, ④, ⑤を閉める。

### 3. 水抜き後の操作

- ① ボイラー下部のカバー（写真A）を閉める。  
※注3) カバーを閉める際の注意事項を参照（3P）

② 室内点検口（写真B）を閉める。

電気復旧後《水抜き》した機器を使うときは：

水漏れ等の異常が見られた場合、すぐに操作を中止して、北ガスまでご連絡ください。

#### 1. 給湯側に通水する。

- ① 室内点検口（写真B）及び、ボイラーアンダーパイプのカバー（写真A）を開ける。
  - ② 電源プラグをコンセントから抜く。
  - ③ すべての水抜栓③, ④, ⑤が閉まっていることを確認する。この時、シャワーや蛇口も閉まっていることを確認する。
  - ④ 給水元栓①をゆっくり開ける。

※給水元栓を開ける際は、ボイラーおよび下部のカバー内を確認しながらゆっくり開けてください。

- ⑤ 給湯栓[2]を開ける。

⑥ シャワーや蛇口を開け水が出ることを確認する。

2. ふろ側に通水する。

① 電源プラグをコンセントに差し込む。

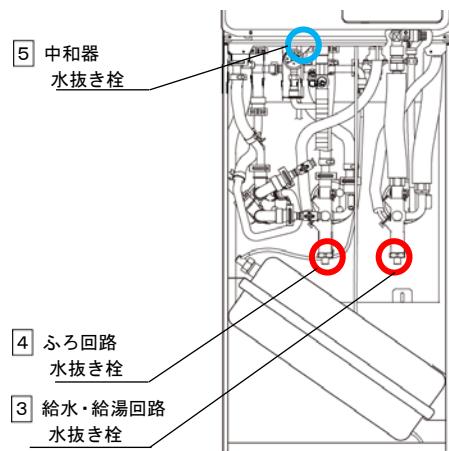
② リモコンの運転スイッチを押して「入」にする。

③ リモコンの自動スイッチを押してふろ自動を運転する。浴槽の循環アダプターからお湯が出ることを確認する。

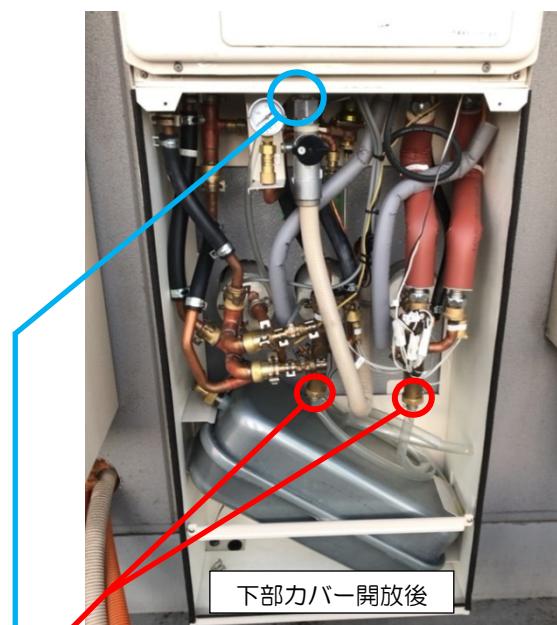
④ 室内点検口（写真B）及び、ボイラーワークのカバー（写真A）を閉める。

※注3) カバーを閉める際の注意事項を参照(3P)

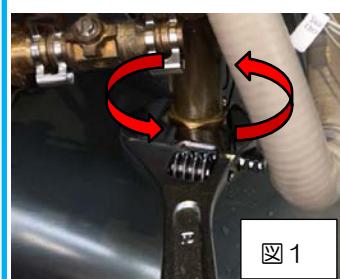
写真 A. 屋外設置ボイラーアンダーパート、構成図



#### ※注2) 水抜き栓の操作方法



#### ・水抜栓[3, 4]の操作方法



四?

水抜栓が固い場合は、図1のようにレンチを用いて、水抜栓を回し緩めていきます。図2のようにこれ以上回らなくなるまで緩めます。

#### ・水抜栓[5]の操作方法



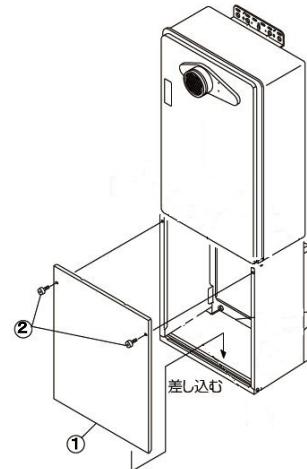
黒い部分を左に回して、緩めてください。  
※回しすぎないよう注意してください。外れたり、隙間から水が漏れたりします。

### ※注3) ボイラー下部カバーを閉める際のご注意

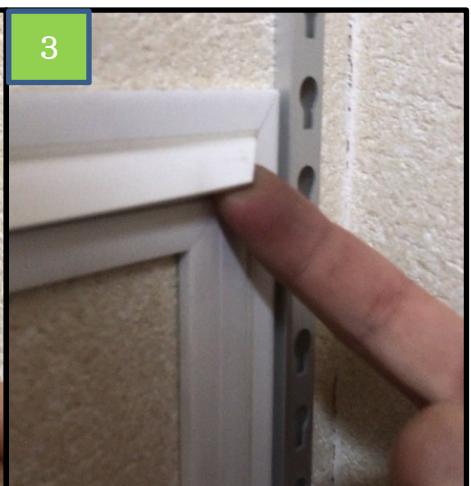
右図の手順①→②にしたがって、カバーを取り付けてください。

- ① カバー（ふた）を本体下部に差し込む。
- ② 固定ビス（2ヶ）によりしっかりと固定する。
- ③ 取付後、カバー下部の両端を手前に引張り、しっかりと固定されていることを確認する。

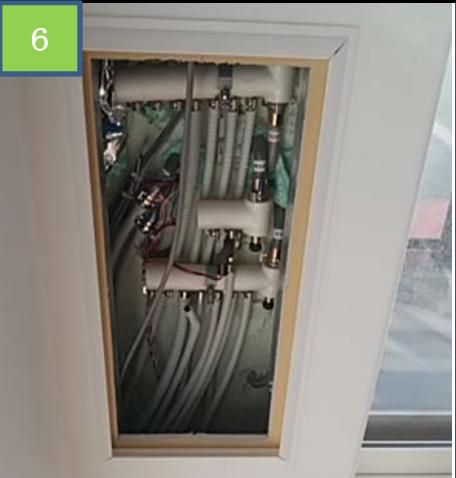
差し込まれていないと風で飛ばされる可能性があり、大変危険です。



## ※注1) 室内点検口の開け方（ビスあり）

 1	 2	 3
<p>点検口はボイラーのおおよそ裏側に設置されています。 ※建物により点検口の大きさは異なります。</p>	<p>赤い〇で囲った部分をマイナスドライバー等の先が細いもので煽ります。</p>	<p>上図のように樹脂部分を持ち上げます。</p>
 4	 5	 6
<p>上辺を図のように完全に持ち上げます。</p>	<p>中に複数のビスがありますので、外してください。上下左右すべての辺で同じ作業を行ってください。</p>	<p>白い樹脂枠とふさぎ板が両方外れます。これら2つは固定されていないので、注意して外してください。</p>
 7		
<p>白い樹脂枠とふさぎ板を完全に取り外します。</p>	<p>※ふさぎ板取り付けの際は、上記手順の逆を行います。</p>	

### ※注1) 室内点検口の開け方(ビスなし)

		
<p>点検口はボイラーのおおよそ裏側に設置されています。 ※建物により点検口の大きさは異なります。</p>	<p>赤い〇で囲った部分をマイナスドライバー等の先が細いもので煽ります。</p>	<p>上下左右すべての辺について、樹脂部分を持ち上げます。</p>
		
<p>壁に傷をつけないよう、樹脂枠を持ち上げながらふさぎ板を取り出します。その際、壁に傷をつけないよう注意してください。</p>	<p>ふさぎ板を壁に接触させないよう注意しながら取り外します。</p>	<p>ふさぎ板取り外し後</p>

※ふさぎ板取り付けの際は、上記手順の逆を行います。